

平成 25 年度 第 21 回 CPD セミナー・公開講座

平成 25 年 8 月 31 日（土）に、（公社）日本技術士会四国本部の主催で、平成 25 年度第 21 回 CPD セミナー・公開講座を開催しました。

以下に、その報告・紹介を致します。

《次第》

- 第 21 回 CPD セミナー (14:30～16:00)
- 公開講座 (16:10～17:40)
- 懇親会 (18:00～20:00)

(1) 第 21 回 CPD セミナー：参加者 30 名

第 21 回 CPD セミナーは、増田副本部長の開会挨拶に始まり、徳島技術支援共同組合 技術顧問 萩森 健治氏から『山岳トンネルをめぐる課題と対策』の演題でご講演を頂きました。



増田副本部長 挨拶



萩森 健治氏 講演

長年のトンネル施工の経験をもとに、施工上の課題や対策及び維持管理面について、

技術者の計画・設計に参考となる講演をしていただきました。

(2) 公開講座：参加者 34 名

公開講座は、NPO法人 グリーンバレー理事長 大南 信也氏から『創造的過疎への挑戦 ～ヒトノミクスから考える地球の未来～』の演題でご講演を頂きました。

過疎化が進む町が、現在、ITやアーティストなど多岐にわたる職種の人々の人材誘致の町へと至る経緯や人とのつながりについて、興味深い講演をしていただきました。



大南 信也氏 講演

(3) 懇親会：参加者 22 名(内 2 名講師)

徳島県技術士会 富士副会長の挨拶・乾杯の音頭で懇親会が始まり、約 2 時間の歓談の後、栗本事務局長の中締めの挨拶で閉会しました。



懇親会 歓談



中締め

今回の懇親会は、多くの方と話をする機会を創るため、ビュフェ型式(飲み放題)で執り行いました。参加者からは、概ね好評価を頂き、有意義な懇親会(2時間)を共有することが出来ました。

(4) 第14回 CPD セミナー、公開講座を終えて

参加者は、8月23日時点で16名、8月28日時点で26名、そして8月30日の当日によろやく34名の参加となりました。我々事業委員をはじめ、関係者の方々のお声掛けにより、やっと集まった参加人数でした。

「講演内容の充実で多くの参加者を」この方針には異論ありませんが、それだけで参加者の増は見込めないと感じております。また、参加費の区別も、参加者が増えない要因の一つではないでしょうか。

開催時期の問題、開催地の地理的条件、周知の不徹底、既技術士の無関心等、様々な原因が混在している状況の中で、参加者の増大を図ることは、四国本部として喫緊に解決すべき課題と考えます。そのため、講演内容の充実と共に、当該 CPD セミナー・公開講座・懇親会の有用性を、会員各位に説く地道な努力が不可欠ではないでしょうか。

本日の CPD セミナーで教示して頂いた凡事徹底の精神で、今後この地道な努力を実践することが大切と考えます。

桑原 豊秀 (くわはら とよひで)

技術士 (建設部門)
四国本部 事業委員長
ニタコンサルタント(株)
e-mail:t-kuwahara@nita.co.jp



藤本 一郎 (ふじもと いちろう)

技術士 (建設部門)
四国本部 事業委員
エスシー企画(株)
i-fujimoto@sckikaku.com



豊崎 裕司 (とよさき ゆうじ)

技術士 (総合技術監理部門、建設部門)
四国本部 事業委員
四国建設コンサルタント(株)
e-mail:toyosaki-y@yoncon.co.jp

